### 2018年度

## 第15回お墓ディレクター検定試験 2級試験問題

### 注意事項

- ①試験開始のアナウンスがあるまで問題用紙は開かないでください。
- ②試験時間は90分です。試験開始後、30分間は途中退室できません。また、試験終了 10分前からの退室もできません。退室する場合は、試験をされている他の受検者に 迷惑が掛からないように静かに退室してください。
- ③体調不良などにより途中退席をする場合は各試験教室の試験監督官に申し出てください。
- ④机の上には、受検票、腕時計、鉛筆・シャープペンシル(HB~2B)とプラスティック製の消しゴム及び鉛筆削り以外のものは置いてはいけません。
- ⑤携帯電話を含む一切の無線通信機器の試験教室内での使用を禁止します。必ず電源を 切り、カバン等にしまってください。
- ⑥解答は解答用紙に記入してください。また、マークシート方式ですので、記入の際は 注意事項をよく読み、正しく記入してください。
- ⑦試験時間中の私語は固く禁止します。
- ⑧終了時刻がきたら、鉛筆を置いて解答作業を中止してください。また、係員が回収に くるまで離席は認めません。
- ⑨試験問題、合否、採点結果に関する質問は一切受け付けいたしません。
- ⑩試験監督官又は係員の指示に従わない者及び不正行為を行なった者に対しては、退室させる事があります。
- 印試験問題は各自お持ち帰りください。

#### 正誤判定50題

- ◎次の各文の内容が正しい場合には正の箇所を、誤っている場合には誤の箇所を、 それぞれマークしなさい。
- 1. 世界で最も信者数が多いとされる宗教は仏教です。
- 2. 神道とは、日本民族に固有の神・神霊についての信念に基づいて発生し、展開してきた宗教の総称です。
- 3. 神社神道系の諸教団の多くは、神社を中心として構成されています。
- 4. 神明社は現在、全国に約1万社あるといわれています。
- 5. 日本の仏教は聖徳太子によってその基礎が据えられたとされます。
- 6. 三論・成実・倶舎・法相・華厳・律の六宗をあわせて西都六宗といいます。
- 7. 鑑真が開創した寺院が唐招提寺で、今に法相宗を伝えています。
- 8. 真言宗の東密に対し、天台宗は台密と呼ばれる密教を栄えさせました。
- 9. 真言宗は皇室と縁が深く、大覚寺、仁和寺等の門跡寺院が多くあり、それぞれ一派を形成しています。
- 10. 室町時代は、貴族階級中心の鎌倉仏教に代わり、民衆の救いへの願いに応える仏教が生まれました。
- 11. 真言宗において、12世紀には覚鑁が出て密教と高野山の復興につとめました。
- 12. 鎌倉時代に成立した禅宗に、臨済宗と曹洞宗があります。
- 13.6世紀になると巨大な前方後円墳は造営されなくなり、横穴式石室の小型円墳へと変化していきました。
- 14. 奈良県の箸墓古墳は全長 276 mの巨大古墳で、仁徳天皇の墓といわれています。
- 15. 持統天皇が703年に火葬されており、この頃から本格的な火葬が行なわれ始めたといわれています。
- 16. 葬儀を寺院に依頼する形式が定着するのは15世紀半ばごろからです。
- 17. 明治元年の神仏分離令により、当時存在した寺院の2/3が廃寺に追い込まれました。
- 18. お釈迦様「釈尊」が約2500年前に仏教の基になる「教義」を説き、その後、長い年月を隔て、多くの弟子たちにより引き継がれて、今日の仏教が確立されました。
- 19. 鎌倉時代、東大寺大仏殿の再興のために中国から優れた石工技術を持つ、伊行末らが日本に招かれました。
- 20. 和型墓石が普及しはじめるのは江戸時代に入ってからです。
- 21. 五輪塔の型の母体となったのは舎利瓶と考えられます。

- 22. 墓石とは別に墓誌・法名碑・霊標を建てることが多いのですが、そうでない場合、和型墓石は右面と左面に戒名(法名)を彫ります。
- 23. 戒名の戒というのは戒律のことで、在家の男女の場合、①殺生をしない、②他人のものを盗まない、③邪淫をしてはならない、④ウソをついてはいけない、⑤酒を飲んではならない、という五戒があります。
- 24. 室町時代から江戸時代のはじめに地蔵信仰が高まって、地蔵石仏が多くつくられるようになりました。
- 25. 人が亡くなって百日間を忌中、または中陰・中有ともいいます。
- 26. 亡くなった月と日が同じ日のことを祥月命日といいます。
- 27. 月は違っても亡くなった日と同じ日のことを月忌といいます。
- 28. 神式では四十日祭で忌明けとなります。
- 29. お盆のことを正しくは「盂蘭盆会」といいます。この盂蘭盆とはサンスクリット語のウランパナの音写で「餌懸」と意訳されます。
- 30. 現在、行なわれている盂蘭盆会の行事のスタイルは室町時代にできあがったものです。
- 31. 彼岸会はインドや中国でも行なわれている仏教行事です。
- 32. 数珠はいろいろな経典に出てきますが、インド、中国、朝鮮を経て日本に伝えられています。
- 33. 埋葬または焼骨の埋蔵は、墓地以外の区域に、これを行なってはなりません。
- 34. 祭祀財産は相続財産に含まれます。
- 35. 寺院境内墓地において、使用者がその寺院の檀家であることをやめてしまった場合、新たな 焼骨の収蔵や、そこから改葬することは認められません。
- 36. クーリング・オフ制度とは、クーリング・オフについて告知した書面を受領した日から8日 以内に契約を解除する書面を発送すれば契約を解消できる制度です。
- 37. 火成岩とは、マグマが固結してできた岩石のことです。
- 38. 花崗岩とは、地球上で最も分布面積の広いアルカリ性の深成岩です。
- 39. やさとみかげは茨城県で採掘される花崗岩です。
- 40. 北木石は岡山県で採掘される花崗岩です。

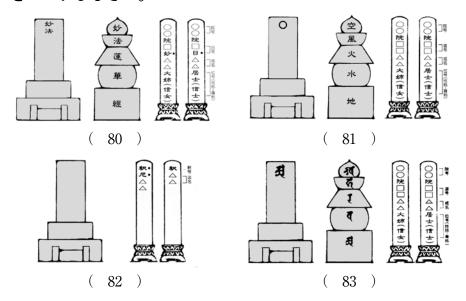
- 41. 1999 年、岩手県一関市の祥雲寺(現在は知勝院が経営主体)において、日本最初の樹木葬墓 地が開設されました。
- 42. 墓地内の通路には幅員1 m以上など規定が定められており、主要通路とその他の通路の位置づけや幅員の寸法については自治体によって異なることがあります。
- 43. 土葬の遺骨を、火葬したり、洗骨して、元の墳墓に還すことは改葬にあたりません。
- 44. 中国で墓石、外柵などの製品化が本格化したのは 1985 年頃のことです。
- 45. 硬石と軟石を加工する場合、使用する道具は全く変わりません。
- 46. モルタルで施工する場合、原則として合口はノミで荒らし、モルタルがつき良いように工夫します。
- 47. 接着剤を使用する時は水分と「ほこり」をきらいますので、接着する面をよく拭いて使用します。
- 48. 昭和の前期は、全死亡者に対して 80 歳以上の高齢者が占める割合は 5%未満でしたが、2012 年では 58.3%までになっています。
- 49. 分骨する場合には、火葬場の管理者より、分骨する数だけの分骨証明(=火葬証明書)を発行してもらい、分骨する際に墓地等の管理者に提出する必要があります。
- 50. 墓地には火葬された骨=焼骨の「埋蔵」、納骨堂へは焼骨の「収蔵」というのが墓地、埋葬等に関する法律に定められた言い方です。

C	》次の各文の( ) に入る語を①~④の中から選び、その番号の箇所をマークし なさい。
51.	菅原道真をまつる天満 (天神) 社は、( ) などの神として崇められ、広く天神講が普及しました。 ①武術 ②商業 ③文学詩歌 ④農業
52.	天台宗には峰々を毎日歩きまわる ( れを修する人が絶えません。 ①阿字観 ②籠山行 ③回峰行 ④加持祈祷など極めて厳しい行が伝わっており、今に、これを修する人が絶えません。 ④加持祈祷
53.	神道式墓の墓前には、榊を捧げる ( ) を置くのが特徴です。 ①六足台 ②八足台 ③三具足 ④五具足
54.	天台宗・真言宗・禅宗の主な経典の一つに ( かんのんぎょう ①観音経があります。 ( 
55.	塔婆供養はほとんどの宗派で行ないますが ( ) では行ないません。 ①浄土真宗 ②真言宗 ③天台宗 ④禅宗
56.	<ul><li>波羅蜜はサンスクリット語でパーラミターといい、( ) などと漢訳されます。</li><li>①到彼岸 ②智慧 ③盂蘭盆会 ④浄土</li></ul>
57.	死体の埋葬または火葬を行なう者がない時、または判明しない時は、死亡地の ( ) がこれを行なわなければなりません。 ①市町村長 ②警察署長 ③火葬場長 ④都道府県知事
58.	改葬のために周知の(すでに知られている)文化財埋蔵場所を発掘しようとする場合や、改葬の過程で遺跡と思われるものを発見した時などの場合には、( )に届け出なければなりません。 ①文化庁長官 ②自治体首長 ③文部科学大臣 ④科学技術庁長官
59.	被相続人による指定や慣習などによって墳墓の承継人を決められない場合は ( ) が、これを決めることとなります。 ①市役所 ②警察署 ③家庭裁判所 ④税務署
60.	<ul><li>六方石は ( ) です。</li><li>①凝灰岩 ②玄武岩 ③花崗岩 ④安山岩</li></ul>
61.	アーバングレーは ( ) で採掘される白系 (グレー系) の石材です。 ①インド ②ベトナム ③韓国 ④中国
62.	手加工における「のみ切り」工程において、小松石などは ( ) で切り下げると穴もあかず綺麗に仕上がります。 (1)二寸勾配 ②四寸勾配 ③六寸勾配 ④八寸勾配

	①1:3:6	22:4:4	31:4	4:5 42:2	2:6		
64.	4. 死亡の届け出は、届け出義務者が死亡の事実を知った日から ( )以内(但し、国外で死亡した場合には、死亡の事実を知った日から3カ月以内)に行なわなければなりません。 ①5日 ②7日 ③10日 ④14日						
◎各宗派の開祖を下の①~④の中から選び、その番号の箇所をマークしなさい。							
	天台宗 ( 65 臨済宗 ( 69	)真言宗( 66 )曹洞宗( 70	) 浄土宗 ) 黄檗宗	/ <b></b> \ <b> </b>	E ( 68 ) ( 72 )		
65.	①道元	②日蓮	③最 <i>澄</i>	④空海			
66.	① <b>空海</b>	2 <b>隐元隆琦</b>	③良忍	④栄西			
67.	①空海	②親鸞	3最澄	④法然			
68.	1道元	②親鸞	③法然	④栄西			
69.	①親鸞	②隠元隆琦	③栄西	④ <u>ਁ૽ૢૡ૾</u> ん			
70.	1道元	道元 ②栄西		4 最 澄			
71.	1)一遍	①一遍 ②日蓮		************************************			
72.	①法然	②親鸞	③日蓮	4)—遍			
$\bigcirc$	◎各宗派の本山を下の①~④の中から選び、その番号の箇所をマークしなさい。						
天台宗 ( 73 ) 真言宗 ( 74 ) 浄土宗 ( 75 ) 浄土真宗・本願寺派 ( 76 ) 真宗大谷派 ( 77 ) 黄檗宗 ( 78 ) 日蓮宗 ( 79 )							
73.	①比叡山延暦寺	字 ②高野山金剛	剛峯寺 ③	知恩院	④身延山久遠寺		
74.	①比叡山延暦寺 ②高野山金剛		剛峯寺 ③	知恩院	④身延山久遠寺		
75.	①西本願寺 ②知恩院		(3	比叡山延暦寺	④東本願寺		
76.	①西本願寺 ②知恩院		(3	比叡山延暦寺	④東本願寺		
77.	①万福寺 ②身延山久记		遠寺 ③	東本願寺	④西本願寺		
78.	①万福寺 ②身延山久)		遠寺 ③	東本願寺	④西本願寺		
79.	①比叡山延暦寺	<b>全万福寺</b>	(3	西本願寺	④身延山久遠寺		

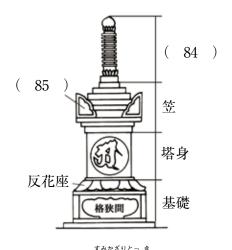
63. コンクリートの配合は、(セメント:川砂:砂利) = ( ) が、基本として知られています。

◎次のお墓と位牌を見て、それぞれの宗派を①~④の中から選び、その番号の箇所をマークしなさい。



- ①浄土真宗
- ②真言宗
- ③日蓮宗
- **④禅宗**

◎次の図の( )にあてはまる名称を下の①~④の中から選び、その番号の箇所をマークしなさい。



- ①軸部
- ②隅飾突起
- ③相輪
- **④火輪**

◎次の図は時代別の特徴をあらわず反花ですが、それぞれの時代を下の①~④の中から選び、その番号の箇所をマークしなさい。



- ①平安時代 ②鎌倉時代 ③室町時代 ④江戸時代
- ○それぞれにあてはまる書体名を下の①~④の中から選び、その番号の箇所をマークしなさい。



◎次の表の( )にあてはまる語を下の①~④の中から選び、その番号の箇所をマークしなさい。

(a) 臨終
(b) 死後の処置
(c) 遺体の搬送
(d) (91)
(e) 納棺
(f) 通夜
(g) 葬(式・告別式
(h) 出棺
(i) (92)
(j) 法要
(k) 四十九日などの法事
(1) (93)
(m) 喪

# ◎次の文章の( )に入る語を下のそれぞれの①~④の中から選び、その番号の箇所をマークしなさい。

十王信仰とは中国で(94)との融合のもとに起こり、日本でも鎌倉時代以降において盛行したといわれています。十王とは冥界(冥途)で死者の罪業を裁く十人の王のことをいい、十仏事の成立に応じて立てられました。十仏事は、古代インドの思想である初七日から始まる(95)に、(96)、一周忌、三回忌が加わったものです。

94. ①神道 ②ヒンズー教 ③儒教 ④道教

95. ①三七日 ②五七日 ③七七日 ④百ヵ日

96. ①三七日 ②五七日 ③七七日 ④百ヵ日

現行の無縁環境の改葬手続きでは、申請者の住所、氏名、死亡者との続柄及び墓地使用者または焼骨収蔵委託者との関係等を記載した( 97 )許可申請書に無縁墳墓の( 98 )及び位置図を添付するほか、死亡者の本籍及び氏名並びに墓地使用者等、死亡者の縁故者及び無縁墳墓等に関する権利を有する者に対し、1年以内に申し出るべき旨を( 99 )に掲載し、かつ、無縁墳墓の見やすい場所に設定された( 100 )に1年間、掲示して公告し、その期間中に申し出がなかった旨を記載した書面、( 99 )の写し及び( 100 )の写真、その他市町村長(特別区の区長を含む。以下同じ)が特に必要と認める書類を添付して、市町村長に提出、申請します。

97. ①火葬 ②分骨 ③改葬 ④風葬

98. ①設計図 ②写真 ③イメージ図 ④概略

99. ①日刊新聞 ②地元広報紙 ③管報 ④墓誌

100. ①立札 ②墓誌 ③官報 ④塔婆立て